

国民大運動広島県実行委員会第10回総会&学習講演会

広島の行政と暮らしを問い直す

2019年9月27日(金)18:30

広島ロードビル・ホール

講演「広島県政は平和と暮らしを守っているか」

辻つねお(日本共産党広島県議会議員)



- 安倍政権7年にあわせるように、広島の湯崎県政も3期目。「戦後最良」と評される有効求人倍率、全国最多の「平成の大合併」、他県に率先した「国保県単位化」「起業支援」「新教育システム」など、新自由主義は県に何をもたらしたのか。
- その一方、日本最多の土砂災害危険力所、年間農業所得30万円、全国2位の医療過疎地など、深刻な状況はさらに悪化しつつある。極東最大の空軍基地と化した米岩国基地、呉海上自衛隊の増強と「かが」空母化など、広島の手と空は巨大な軍事拠点に変貌しつつある。
- 広島県政は平和と暮らしを守っているか、改めて学び合い、国民大運動の取り組み課題を確認する場としたい。

主催：「軍事費を削って、暮らし・福祉・教育の充実を」
国民大運動広島県実行委員会
広島市東区光町2-9-24-205(広島県労連事務局)
TEL082-262-1550 Fax082-261-5059

名称：国民大運動広島県実行委員会第10回総会
&学習講演会

日時：2019年9月27日(金)18:30~20:30

場所：広島ロードビル・3Fホール
広島市東区光町2-9-24-205

●記念講演

「広島県政は平和と暮らしを守っているか」
講師 辻つねお(日本共産党広島県議会議員)

●国民大運動実委総会

2019年自治体キャラバンについて
全自治体への要請内容